

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	高齢者下部尿路症状に対するフレイル・サルコペニアの与える影響
研究期間	倫理委員会・学長承認日 ～2024年12月31日
研究の対象	2020/1/1～2024/12/31 の間に、当院で下部尿路症状に対して薬物治療をうけている、ないしは受けていた、当時75歳以上の方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：登録時年齢、身長および体重、LUTS 治療に関わる内服薬、LUTS に影響を与える既往疾患、質問問診票スコア：国際前立腺症状スコア（IPSS）、過活動膀胱症状スコア（OABSS）、サルコペニアスクリーニングツール（SARC-F）、高齢者における食欲に関する質問票（CNAQ-J）、フレイルチェックリスト、前立腺体積測定（男性）、握力測定、採血データ</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>■利用予定日（開始日 2024年1月1日）</p>
研究の意義、目的	超高齢者社会では、高齢者の脆弱性（フレイル）や筋力低下（サルコペニア）への対応が国民あげての課題となっています。フレイルやサルコペニアはさまざまな医療局面で悪影響を及ぼす可能性があります。下部尿路症状は尿失禁や頻尿、排尿困難といった高齢になるにしたがい増加するQOLを妨げる症状ですが、高齢患者において、下部尿路症状にサルコペニアやフレイルがどのように関連しているかはまだ不明であることが多いです。将来的にはサルコペニアやフレイルへの改善が下部尿路症状の予防や改善に帰結することを検証したいと考えています。
研究の方法	2020年から当院で下部尿路症状に対して薬物治療を受けていた、もしくは受けている75歳以上の患者へのいままでの診療の中で聴取させてもらったさまざまな下部尿路症状に関する問診票やサルコペニアやフレイルに関する問診票などを基にそれらの相関関係を見ていきます。また通常診療内で検査してきた男性においては前立腺の体積や血液検査の結果なども加味して多面的な検証を行います。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。本研究で得た各個人情報には研究の目的以外で使用することはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東2条1丁目1番 旭川医科大学</p>

腎泌尿器外科 TEL: 0166-68-2533

研究責任者：腎泌尿器外科・講師 和田 直樹

○試料・情報の管理について責任を有する者

旭川医科大学学長 西川祐司